

会 議 録

1 会議名

令和6年度第1回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ・会長及び副会長の選任について（公開）
- ・地域協議会の運営等について（公開）

○報告事項

- ・自主的審議事項の引継ぎについて（公開）

○その他

- ・令和6年度板倉区における主な事業について（公開）
- ・自転車まつりについて（公開）

3 開催日時

令和6年5月27日（月）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

4人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：小林政弘（会長）、秋山秀夫、新井武司、小川義雄、釜田富男、
小林昌子、清水淳一、庄山健、中澤健一、藤原順昭、南直樹、
山本孝一
- ・事務局：板倉区総合事務所 宮下所長、内藤次長、名倉次長、高橋建設グループ長、佐藤産業グループ長、長谷川市民生活・福祉グループ長、清水教育・文化グループ長、千葉地域振興班長、金井主任

8 発言の内容（要旨）

【内藤次長】

- ・ 会議の開会を宣言

【宮下総合事務所長】

- ・ 挨拶

【委員、総合事務所職員】

- ・ 挨拶

【内藤次長】

協議事項に移る。最初に、会議の進行についてのお願いである。地域協議会では会議の内容を録音し、会議録を公開している。発言する場合は、挙手していただき、議長が指名した後にマイクを使って発言をお願いする。

なお、条例第8条第1項に、「会長が議長となる」と規定されているが、会長が決定するまでの間、私が進行をさせていただく。

また、現在、五十音順に座っていただいているが、会長、副会長の選任後、改めて席の移動をしていただく。

それでは、協議事項（1）「会長及び副会長の選任」に移る。条例第6条の規定により、会長及び副会長は、それぞれの地域協議会の会議において、委員のうちから選任することとされている。選任方法は、各地域協議会で定めることとなっているが、板倉区地域協議会では、会長と副会長1名を自薦もしくは他薦で選任し、会長、副会長の任期は条例どおり4年とすることでよいか。

（異議なし）

それでは、会長、副会長の自薦若しくは他薦される方は発言をお願いする。

【庄山委員】

前任者は、秋山委員、小林委員、植木委員と私を含め4人しかおらず、あとの10人の委員は新しい方ということで、もしこの中で会長をやりたい副会長をやりたいという方がいれば手を上げていただきたいと思うがいかがか。

（挙手なし）

もしいなければ、前任者の中から選んでもいいか、皆さんの意見を聞きたい。

（異議なしの声あり）

私の案であるが、会長に小林委員、副会長に植木委員を推薦したい。皆さんの考えを聞きたい。

【内藤次長】

ただいま、会長を小林委員に、副会長を植木委員にとの推薦をいただいた。こちらで決を採りたいと思うが賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

賛成多数なので、会長は小林委員、副会長は植木委員ということでお願いしたい。植木委員は本日欠席であるが、結果について事務局からお伝えする。それでは小林会長に席の移動をお願いします。

なお、次回以降は委員の皆さんが円形になるように机を配置する。席順はこのままでお願いしたい。それでは会長から挨拶をいただく。

【小林会長】

(会長あいさつ)

【内藤次長】

以降の会の進行は小林会長からお願いしたい。

【小林会長】

これ以降、議事進行を務めるので、ご協力をお願いします。質問や意見は、地域協議会全体に関わるものとし、個人的な事項は、後日、事務局に照会いただきたい。なお、個人的な問題についても共有すべき内容によっては事務局と会長と副会長で検討し、皆さんに報告させていただく。

協議事項 地域協議会の運営等について、事務局から説明をお願いします。

【千葉地域振興班長】

・資料1に基づき説明。

【小林会長】

事務局から説明があったが、会議の開催日時について皆さんの意見を聞きたい。まず、今までは開催日の日にちについては定例化していなかった。基本的には予定の立てやすいように、資料に記載のある毎月第4火曜日というなかたちを取った方がいいだろうということである。開催時間が午後6時ということで仕事上難しいという方もいらっしゃるかと思うので、忌憚のないご意見をいただ

きたい。質問、意見のある方は挙手を願う。

(特に意見なし)

事務局案では例として毎月第4火曜日ということになっているが、水曜日でも木曜日でもいい。皆さんのご都合はいかがか。毎月第4火曜日ということでもいいか。

(異議なし)

それではここに記載のとおり、次月以降は第4火曜日午後6時から開催するというようお願いしたい。

資料1については一括採決したいと思う。賛成の皆さんの挙手をお願いしたい。

(挙手多数)

賛成多数であるので、決定とさせていただきます。

今回の会議録の確認者は秋山委員ということをお願いしたい。

【秋山委員】

前回は席の番号をくじで決めた。あいうえお順が多いため、くじの方が平等でいいのではないかと思う。

【小林委員】

皆さんの意見を聞きたい。

【釜田委員】

会議録の確認とはどのようなことをするのか。例えばこの会議の中で自分がメモしていたものと、事務局の方で書かれた内容を確認し、間違いがなければそれでいいということで、基本的にそれだけであるか。自分で記録しまとめたものを出す必要はないということか。

【千葉地域振興班長】

そのとおりである。

【釜田委員】

基本的に事務局の方でまとめられた内容を確認するだけで、それであればそんなに大きな仕事ではないと思うので、あまり順番にこだわらなくてもいいと思う。

【秋山委員】

議事録の確認はたいしたことではないが、意見を求められる時、一番からということが多い、私は何人かの意見を聞いてから自分の意見をまとめたいので、誰も何も話していない中で、一番から答えなくてはいけないということが難しい。あいうえお順でいくと私はよく一番になり、皆さんの意見を聞いた後にはなかなか言い直しはできないので、そういった部分で私個人としては一番ではない方がいいと思って話をした。

【宮下総合事務所長】

会の運営においては、会長の方から毎回一番からかけるのではなく、逆からかけてみたりいろいろと工夫の余地がある。それはそれとして席は固定化して、意見の取り方は会長と相談しながら、平準化、公平に、順番に聞いていただけるよう配慮いただくことで、十分、会の運営はできるのではないかと考えている。ただし、先ほどの議事録署名に関しては釜田委員からも確認があったが、事務局で調製した議事録を、その内容と相違がないか確認いただく作業であるので、これについてはあいうえお順で決めた中で順番にやっていただければと思う。

【小林委員】

進め方として、意見を求める時は十分その辺は配慮し、平等に求めたいと思う。喫緊の課題であれば全員の方から発言してもらうことになるし、課題に対しての自らの考えは、事前に資料を配布するのでその場で判断をして発言をしていただくことはまずないと思う。その辺は十分に配慮したいと考えている。

この件については以上でいいか。

次に、報告事項 自主的審議事項の引継ぎについて事務局の説明を求める。

【内藤次長】

- ・資料2に基づき説明。

【小林会長】

質問、意見のある方は挙手を求める。

これからの新たなテーマ設定については次月の会議以降、皆さんの意見を聞きながら新たに設定していきたいと考える。引き継ぎ事項ということで確認をいただきたいと考える。

【清水委員】

1点目の継続審議だが、ゑしんの里、蕎麦の関係も振興会に受け継いだということであり、その他にも何か項目があるのか。課題があるのか。

【内藤次長】

ゑしんの里観光公社に関しては、今回事業を引き継ぐというかたちになった。まちづくり振興会は板倉区の中で主な活動団体ということになるが、他にも活動されている団体もあるので、そのような団体といろいろな課題に対してどのようなかたちでこれから活性化できるかということで、まちづくり振興会だけでなく、他の活動団体と連携して課題の解決に向けて取組みを考えていけたらと思う。今回のゑしんの里記念館だけではなく、これからも引き続きいろいろな地域振興について取り組んでいただきたいという思いで引き継がれたということである。

【小林会長】

他にあるか。

(特になし)

次回以降、考えがあったらその時に忌憚のない意見を出していただけたらと思う。この件については以上とする。

次に、4その他に移る。令和6年度における板倉区の主な事業について、事務局からの説明を求める。

【名倉次長】

・資料3に基づき説明。

【小林会長】

質問のある方は挙手を求める。

【庄山委員】

3番目の地域集落支援事業の、集落づくり推進員と地域おこし協力隊の違いが分からない。わかりやすく説明してもらいたい。

【内藤次長】

集落づくり推進員は、今板倉区に1人いる。高齢化率50%以上の集落に入っていく、必要な支援がないかとか、一人暮らしの方で困っていることがないか、

などと話を聞いて回っている職員である。例えば、集落でこういったことをやりたいという相談があれば、利用できそうな補助金制度を紹介したり、他の地域での事例を紹介してアドバイスをしたりということもしている。

地域おこし協力隊は、板倉区では筒方地区と寺野地区に1人ずついる。この事業は、人口が減少している地域に、都会の人が移住して地域おこしの支援をしていただくという国の政策である。集落で、こういう集落にしたいとか、こういう地域おこしをしてほしいというようなミッションを決めていただき、それに賛同した人が応募し、3年間着任していただくという事業である。ちなみに板倉区の2人のうち、寺野の担当は3年任期の3年目に入った。後1年である。もう一人の筒方の担当は2年目に入った。3年任期が終わった後、そこに定住するかどうか考えて決めていただく。

【庄山委員】

分かりやすく言うと、集落づくり推進員は集落単位で何とかしようという意味合いで理解していいか、

【内藤次長】

高齢化率が高い集落を担当するというものである。

【庄山委員】

高齢化は別にして、集落づくりというのは集落を何とかしようということなのか、あるいは集落でなく地域を何とかしようとしてくれるものなのか。

【小林会長】

皆さん分かりにくいと思うので、事務局は来月に具体的にこういったことをやっているということを示してほしい。地域おこし協力隊の福井さんは一生懸命アイデアを出しながら切磋琢磨しやっている。できればそのまま寺野に定住してもらえれば一番いいが、我々地域協議会としてもバックアップしてあげたいという気持ちはある。できれば意見交換の場を設けてあげたいと考えている。

【清水委員】

さきほど高齢化率50%と言っていたが、そうすると民生委員も同じような動きをしていると思われ、同じような活動を両方でやっているとは私は取れるのだが。例えば、高齢者の一人暮らしの人達の見回りは、民生委員がやっていると思

うので、両者の関係はどうなのか。

【千葉地域振興班長】

民生委員は高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯を回っていただき、安否確認をしていただき、助けていただくのが主な仕事だが、集落づくり推進員はそういったことではなく、集落全体や地域といった、一人ひとりを見るというより集落全体で何か活性化できることがないかということのを助言したり、一緒に盛り上げていくような役割が集落づくり推進員である。

【清水委員】

民生委員もやっているのでは。

【千葉地域振興班長】

民生委員は一人ひとりの健康状態やご飯を食べているかとかそういったことは確認するが、集落づくりということは少し難しいと思うが。

【清水委員】

集落づくりまではいかないが、同じような活動を両者でやっているという感じに取れる。

【宮下総合事務所長】

補足すると、集落づくり推進員も民生委員同様に、各地域を回りいろいろな話を聞いたり、コミュニケーションを取ったりしている。だが、最終的なアウトプットは、民生委員は個々人の例えば要介護の状態だとか生活のお困り事だとかを把握して行政とのパイプ役になって解決を図っていくし、集落づくり推進員は地域に入って話をしたりコミュニケーションをしながら地域を活性化するためのお手伝いをしていくということで、相手が地域と個人で異なるものと思っている。かたや福祉分野での活動、かたや地域づくりでの活動ということで大きく捉えていただければ、やっていることは似ているし、話を聞いている相手は被る分もあるがそういったところに違いがあると考えている。

【小林会長】

次回、細部を説明いただきたいと思います。

【庄山委員】

私はどうしても納得いかないのですが、納得いくような回答をお願いしたい。

もう一つ地域協議会費の中で、文書綴りを昨年買ってもらったと思うが、今年も新しい委員に買ってもらえればと思う。

【千葉地域振興班長】

検討させていただく。

【庄山委員】

ついでに、7番のため池等整備事業で、関根地内のところで行うということで話が進んでいるが、その関係で私らのところに中江用水から関川へ抜ける排水路があるが、そのため池の水が排水路に落ちると排水路の容量がオーバーするのではないかということで、当初から心配されているが、その辺はどのようなようになったのか。

【名倉次長】

ため池自体が、大雨が降ってきたときに一気に下流に流れないようにそこに貯めるというものである。大雨が収まってきて、水路の水も収まってくる頃に徐々に流れるというものであり、当然測量設計するが、下流に被害が及ぶため池は作らないので、今後の測量設計の中で検討していきたいと考える。

【庄山委員】

何年も前から町内会長始め、地元の人でも心配している部分もあるので、心配いらないとなればそれでいいが、何があるか分からないこのご時世なので。

【名倉次長】

位置的なものもまた教えてもらいたい。

【庄山委員】

関川へ出る口も広げるという話もあった。幅を広げる、そうすれば排水がうまくいくという話もあったもので聞いてみた。

【小林会長】

一番の課題は緊急時に、災害になったときに心配されていると思う。町内会長始め、地域の方にしっかりと説明をされていると思うので、今一度確認を事務局の方でしていただきたい。

他にあるか。

【秋山委員】

前期までは部会という割り振りがあったのだが、今回はもうやめるということなのか。

【内藤次長】

今まで3つの部会があったかと思う。今回委員が改選となったので、部会について事務局の方で検討したが、まず新しい委員の皆さんと協議させていただき、部会の分野や数、検討する内容等あると思うので、3つの部会ありきではなくて、どのような分野の部会が必要かといった議論をさせていただきながら、年度の途中からでも作ることができるので、今後皆さんと一緒に考えさせていただきたい。

【小林会長】

次回以降、部会の在り方に関しても事務局と会長、副会長で相談させていただき、皆さんに提示させていただきたい。

他にあるか。

(特になし)

私の方から1点質問させていただきたい。地域独自の予算について、板倉区は総合事務所の頑張りがあって、令和5年度と比較して、令和6年度は2倍以上の予算をもらった。自転車まつりもあるので、28区の中でベスト3くらいに入るとされる予算規模であるが、以前あった地域活動支援事業がなくなって、地域協議会としてのコア業務であったものがなくなったということで、私としては税金投入の公平性・透明性がそうなのかなと、担保する観点から今年度末に報告会をやっているが、中間にそういったものがあったらいいのではと思っていた。配分するとその団体が好き勝手使っているようにも見えていたので、しっかりチェックをする機能を働かさなければいけないと思うので、検討をお願いしたい。

【内藤次長】

検討する。

【小林会長】

他にあるか。

(特になし)

この件については以上とする。次に上越自転車まつりについて事務局から説明

を求める。

【内藤次長】

・資料に基づき説明。

【小林会長】

質問、意見のある方は挙手を求める。

【清水委員】

すでに締め切っていると思うが、応募者はどのような感じか。

【内藤次長】

定員に達したと聞いている。里山ライドの方は当初300人であったが希望者が殺到したため350人に定員を増やした。

【清水委員】

ヒルクライムの方は。

【内藤次長】

200人である。

【庄山委員】

実行委員会はどうなっているのか。1月に開いたがそれ以降していないと思うがどうなっているか。

【内藤次長】

実行委員会は大体月に1回程度開いている。

【庄山委員】

1月に行った時は地域協議会も入り、振興会も入りコミュニティプラで行った。それは何であったのか。

【内藤次長】

1月に行ったものは実行委員会と地域協議会、まちづくり振興会との意見交換会であったと思う。実行委員会だけの会議は適宜行っている。

【庄山委員】

市が音頭を取ってやっていると理解していいか。誰が音頭を取っているのか。

【内藤次長】

市は共催である。実行委員会が主催で、実行委員会の方で補助金も申請されて

いる。

【庄山委員】

振興会に聞いたり、地域おこし協力隊の福井さんに聞いたりするが、なかなかいい返事が返ってこない。誰がどこでどうなっているのか、さっぱり見えてこない。イベントをやるのに地域の人から応援してもらいたいとかそういった話もない。どうなるのか具体的に。

【内藤次長】

地域の皆さんに沿道で応援していただきたいと思うし、エイドの方で食べものや飲み物のおもてなしをしていただくということで、実行委員会の方では計画している。まちづくり振興会には協力をお願いしており、総合事務所も実行委員会の会議に出させていただき、これから地域の皆さんにどのように周知していくか検討させていただいている。2か月を切っているので、早く皆様に周知するように実行委員会と取り組んでいきたい。

【小林会長】

昨年度もやって、今年度もやるということだが、料金がここに書いてあるが、それは事務局と福井さんたちで適正だということで決めたのか。

【内藤次長】

参加費も実行委員会の方で決めた。全国的にやっているところがあり、実行委員会の中にもそのような大会に参加している方もいるので適切な参加費ということで決めた。

【中澤委員】

(板倉まちづくり振興会事務局長として) 補足説明させていただくと、実行委員会はまちづくり振興会とは別組織である。実態が分かりにくかったので、見えるような形にしてほしいとまちづくり振興会から申し入れをした。しっかりした組織ではなく、皆さんが心配されている通りスピード感に不安要素があったが、これからはスピードアップして、皆さんにも周知できるような形にするのもう少しお待ちいただきたい。

【庄山委員】

板倉区だけではなく近隣の区にも影響があることなので心配していた。応援し

ようにもどうすればいいのかさえ分からなかった。もう時間もないので、市の方からも実行委員会へ催促をお願いしたい。

【清水委員】

2、3回と継続していけるような大会になってもらいたい。

【内藤次長】

皆様のご意見のとおりだと思っている。現在、4区の事務所が一緒になって検討しているので、皆さんにもご協力いただきたい。

【小林会長】

1月の会議の時から、地域への説明が必要で、そのためには基本は組織だと言ってきたが、この時期となってしまった。地域協議会にも役割があると思うが、協力依頼する団体等には早めをお願いしてほしい。

他に質問あるか。

【釜田委員】

板倉区における主な事業について。初めて委員になったこともあり、総合事務所としてどの事業に力を入れているか、予算をつけるためにどこをがんばったとか、示してもらえると助かる。

また、事業一覧を見ると、悪いところを直すというような事業が多いが、先進的な事業もあると思うので、それを教えていただければ、板倉区を発展させるための意見の参考としやすい。

【名倉次長】

ここに掲載されている事業は、どうしても継続して必要な事業が主だが、大きな事業費となってものはがんばって予算をつけたと思っている。今後、地域協議会の委員の皆さんなどの意見を聞いて、よりよい事業のため予算を確保していきたい。

【釜田委員】

例えば、他区と比較し、板倉区ががんばってくれたと分かるものでもよい。

【名倉次長】

表の見せ方もあると思うので、工夫しながらやっていきたい。

【小林会長】

他にあるか

(なし)

【内藤次長】

以上で、第1回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。